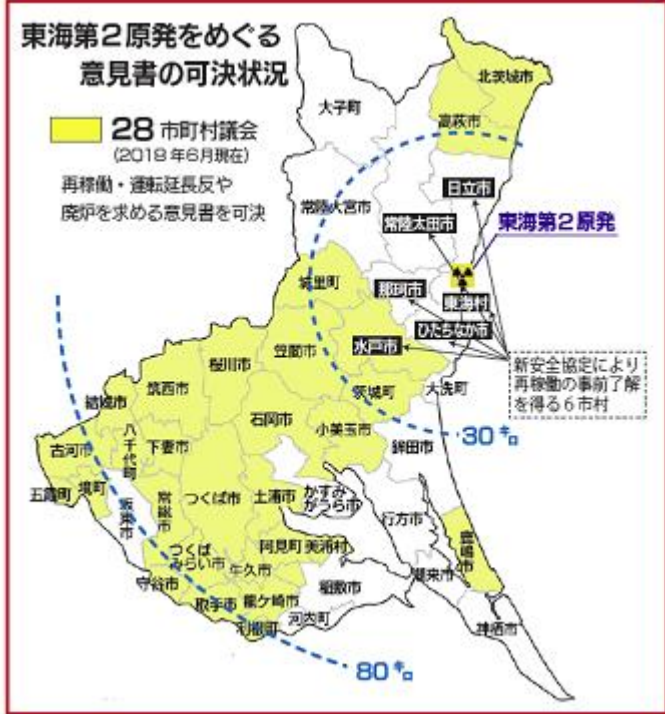


取手市は、
東海第2原発から
福島第1原発から200Kmm



運転40年となる東海第2原発。7月4日原子力規制委員会へは、新規規制基準に「適合」とする審査書案を了承しました。

半径30キロ圏内には県庁所在地の水戸市など96万人が住

原子炉の老朽化、機器・配管の劣化、実効性困難な避難計画、津波対策など諸費用が膨らむなど問題は山積です。「廃炉こそ妥当」と、県内外から怒りの声が上がっています。

首都圏 全国からも怒りの声 「東海第2原発」の適合 規制委が了承

原子炉の老朽化が著しく、東日本大震災では地震と津波で被災しました。怒りと驚きの声とともに、「廃炉署名を更に進めよう」と各地で運動の取り組みが広がっています。

再稼働には同意必要

6市村と原電が協定
水戸市など30キロ圏の6市村と原電は、今年3月、再稼働には同意が必要とする協定を結んでいます。このうちの1自

日本共産党 県委員会、県議団が声明



上野たかし県議

再稼働でなく廃炉を

4日、党茨城県委員会及び上野たかし等県議団は、原子力規制委員会の東海第2原発再稼働審査の了承に抗議し、「東海第2原発は再稼働せずに廃炉を求める」とする声明を発表。「水戸市議会や県内28（取手市含む）市町村で再稼働に反対する意見書等が上げられている。原子力委員会は、県民や議会の声に真摯に向かうべき」と求めました。

※東海第2の審査は他に、20年の運転延長と、設備の詳細を定めた工事計画の策定の2つが残っています。運転期限の11月27日までに審査を通過する必要がある、間に合わなければ廃炉となります。その上で県及び6市村の1自治体でも反対があれば、原電は動かさせません。

治体でも反対があれば原電は動かさせません。

水戸市長は、「新規規制基準に基づく審査は再稼働に直結するものではない」という原電との約束は、現時点でも生きている。原電が再稼働したいと言ってきたら、6市村と協議することになるとマスコミの問いにコメントしました。

取手市民も次つぎ募金

西日本豪雨被害支援、党市議団らが呼びかけ

東海村広域避難訓練取手で実施

「廃炉にすればいいのに」参加者の声

7月16日東海村からの広域避難訓練が避難先自治体の取手市で行われました。当日は村民約170名、役場職員、受け入れ先の取手市から住民、職員、自衛隊、茨城県警、周辺自治体、茨城県、国など村民含め計約400人が参加しました。避難場所は藤代南中体育館。村民はバス5台と車いす運搬車などで高速道路を利用して1時間40分かけての避難でした。車中では「何故避難しなくてはならないか」のビデオを見せられ「廃炉にすれば避

難しなくていいのに」との声が多く出されました。避難先の体育館はうだる暑さの中扇風機だけ。参加者から「うんざり」の声も聞かれました。当日は休日で道路も空いているし学校も休み、時間的には想定どおりでしたが、本番では901人、取手市全体では23533人を受け入れる。その際、取手市民の避難はどうなるのか？

今回の訓練を通じて改めて実効性のある計画か、疑問が出されます。再稼働断念こそ「現実的」です。

豪雨災害 救援募金に



豪雨災害募金を訴える共産党市議団等 7月13日取手駅西口前

甚大な被害をもたらしている西日本豪雨災害。7月15日までに13府県で死者200名以上、行方不明者も30名を超えています。酷暑の中、被災地では懸命の救援・捜索作業が続いています。被害はさらに広がる恐れもあり、全ての被害者への支援強化が緊急に求められます。政府は現場任せにせず、きちんと対応すべきです。

「被災地の人のことを思うと」とカンパ

13日、日本共産党取手市委員会は、4名の党市議を先頭に、取手駅前、西日本豪雨災害への支援募金の行動を10数名の参加で行いました。「被災地は大変でしょうね」など寄せられた当日の募金額41927円。他日のものも含め寄せられた募金は、13万5127円7月18日現在となりました。引き続きとりくみます。

日本共産党創立 96 周年



立憲主義の回復を
市民連合呼掛け人
中野 健一さん

それぞれ自分の生きたいように生きる社会をどうやって作るのか議論し発信していく中で大きく共闘を創っていくことが必要です。そのためにはやっぱり皆さんが必要です。

野党と共闘・市民代表が来賓挨拶

9条壊すな総がかり行動共同代表
高田 健さん



私たちのつかんだ確信は、市民と立憲野党の共闘を発展させることこそ戦後政治史上まれにみる戦争と反動、腐敗の安倍政権を退陣させる道につながるということです。

志位委員長が記念講演

7月11日、東京で記念講演会を開き、志位委員長は冒頭西日本豪雨災害での犠牲者への哀悼と被災者へのお見舞いを述べ、災害対応を最優先課題として取り組むと決意を表明。その上で「いま日本共産党綱領がおもしろい——激動の情勢のもとでの生命力」と題して講演を行いました。日本内外の大激動の情勢のもとで日本共産党の綱領が大きな生命力を発揮しています。

21世紀の世界をどうとらえ、どんな外交が必要か。資本主義を乗り越えた未来社会とは一変革の展望と理想を掲げた日本共産党の綱領は、情勢の進展と響き合って、生命力を発揮しています。

希望の未来をともに開きましょう。そのために一人でも多くの方に党に加わっていただくとともに、「赤旗」をご購読いただくことを、呼びかけました。

“場外舟券売り場”はいらない 仮称「ボートピア取手」地元説明

- 場 所 取手市小浮気字本田 122-2 他
- 施設概要：
 - ①敷地面積約 18,000 ㎡（約 5,450 坪）
 - ②延べ床面積約 2,800 ㎡（約 850 坪）
（1 階 425 席、2 階 200 席）
 - ③駐車場 約 600 台
- 開催内容：
 - 開催日数 約 360 日/年
 - 開催時間 10：00～20：30 頃
 - 来場者数約 1,000 人/日
 - 売り上げ見込み額 年間約 72 億円（2,000 万円/日）
 - 市への助成金 約 7,000 万円/年間
 - 区への協力金 世帯数×1 万円/年間
- オープン H31 年 7 月（予定）

【概要】

日本共産党が今年実施した市民アンケートに寄せられた、場外舟券売り場設置計画が地元説明会で明らかになりました。

説明会は、7月8日相馬公民館で該当する自治会を対象に行われ20名余が参加。今国会で国民の多くが反対のカジノ法案が審議され、人の犠牲の上に儲けをあげるギャンブルの在り方が問われています。取手には市民から「廃止」を求める取手競輪場が既にあり、その上、場外舟券売り場の設置など問題外です。設置予定場所付近

はすでにパチンコ店が複数あります。参加者からは「ギャンブルタウンにする気か」、「暴力団員の入場禁止をうたっているがどう見極められるのか」「判断はつくのか」など疑問が出されました。今後、設置者は当該自治会の意見を取りまとめ、市議会、市長の同意を経て国交省への設置許可申請を行うとしています。

日本共産党は地域の環境を守るためギャンブル施設の建設ストップへ市民のみなさんと力を合わせます。

6月市議会を
振り返って

子育て支援 生活基盤整備の優先を

18歳まで医療費助成前進

10月から入院・外来とも窓口負担を除き無料へ、補正予算が計上され前進しました。しかし、窓口負担をなくし完全無料化実施の求めに対して市は「実施する考えはない」と答弁。その他、戸頭中学校の大規模改修や市民会館改修等の予算計上がされ、井野なないろ保育所建設の工事契約締結の議案が提案されました。

保育所は統合より身近なところに

なないろ保育所新設は公立保育所縮小を目的とした「保育所整備計画」に基づき、舟山・吉田保育所を廃止し、旧取手一中跡地に統合するものです。「地域に身近な保育所を」と求める声

に背を向け、統合する「井野なないろ保育所」は、220名のマンモス保育所。現場から保育内容について心配の声が聞かれています。日本共産党はこれまで通り地域の中に、子どもの発達を保障できる規模の保育所の設置を求め反対しました。

基盤整備こそ優先すべき

雨水排水、道路整備等生活基盤整備の市民要求は切実です。しかし通学・生活道路整備等の予算は少なく、整備が進まないのが実態です。一方取手市は、先行き不透明な西口開発等に熱中し、際限なく税金投入を繰り返しています。

日本共産党は、市民の福祉・暮らしを守る取手市をめざし引き続き頑張ります。

なないろ保育所建設工事で市が説明会 （舟山・吉田保育所が統合）

旧一中解体工事の騒音・振動で身体・精神的異常訴え 近隣住民

7月1日に井野なないろ保育所建設の説明会が行われ、約50名ほどの住民が参加しました。説明会では、旧一中解体時に近隣住民らは、振動・騒音などで、身体・精神に異常をきたすほどの被害を受けたこと。何度も市に改善を求めても、一向に改善が図られなかったこと。工事期間中は何度も、避難生活を余儀なくされたことなど、切実に訴えられました。参加者からは、解体工事中の市の対応についての抗議とともに、新築

工事及び、定員220名の保育所竣工後の運営上の問題などにも不安の声が上がりました。

共産党議員団 新築工事は低振動・低騒音工法など要求

説明会に参加し住民の切実な声を受けた加増・小池両市議は、関戸市議とともに後日福祉部長と子育て支援課の担当者にヒアリングを行い、この間の市の対応を批判、新築工事に当たっては、近隣環境に最大限の配慮した建設工法により行うこと。今後の誠実な対応により、新築竣工への理解と地域に歓迎される施設づくりにつとめることを求めました。